

令和 8 年度受変電設備更新工事

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E-00	図面目録	—
E-01	電気設備工事 特記仕様書 (1)	—
E-02	電気設備工事 特記仕様書 (2)	—
E-03	配置図、付近見取図	S=1/2000
E-04	地下階平面図(情報メディアセンター棟)	S=1/200
E-05	受電結線図	—



工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	年月日	図面番号
令和 8 年度受変電設備更新工事	図面目録	—	2026.04	00

一般共通事項	16 工事用仮設物	構内につくことが ※ できる ● できない																																																				
	17 土 工 事	埋 戻 し 土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類 () ● 真砂土 () 建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積 本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。 EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員 の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 屋外露出配管(厚膜電線管)で塗装を行わない場合は、熔融亜鉛めっき仕上げ[めっき付着量 300g/m以上]とする。																																																				
一般共通事項	18 電 線 本 数 ・ 管 路 等	塗装する部分 ● 屋上 ● 屋側 ● 屋外 ● 廊下 ● 機械室 ● 居室 () ●																																																				
	19 屋 外 露 出 配 管 の 仕 上 げ	波付硬質合成樹脂管 (FEP) ● 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製																																																				
一般共通事項	20 露出配管の塗装 (付属品含む)	シール等を貼付し、用途を表示する。																																																				
	21 波付硬質合成樹脂管 (FEP)	ステンレス製プルボックスの塗装 ※ 無 (素地仕上) ● 有 (指定色仕上)																																																				
一般共通事項	22 フラッシュプレートの材質	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。																																																				
	23 カバープレートの表示	1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器重量 [kN] に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。																																																				
一般共通事項	24 プルボックスの塗装	設計用標準水平震度																																																				
	25 耐 震 施 工	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">● 特定の施設</th> <th colspan="2">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上 層 階 屋 上 及 び 塔 屋</td> <td>機 器</td> <td rowspan="3">2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中 間 階</td> <td>機 器</td> <td rowspan="3">1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地 下 及 び 1 階</td> <td>機 器</td> <td rowspan="3">1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	機器種別	● 特定の施設		● 一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上 層 階 屋 上 及 び 塔 屋	機 器	2.0	1.5	1.0	1.0	防振支持の機器	2.0	1.5	1.5	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	中 間 階	機 器	1.5	1.0	0.6	0.6	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	水 槽 類	1.0	0.6	0.6	地 下 及 び 1 階	機 器	1.0	0.6	0.4	0.4	防振支持の機器	1.0	0.6	0.6	水 槽 類	1.5	1.0	0.6
設置場所	機器種別	● 特定の施設			● 一般の施設																																																	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																	
上 層 階 屋 上 及 び 塔 屋	機 器	2.0	1.5	1.0	1.0																																																	
	防振支持の機器		2.0	1.5	1.5																																																	
	水 槽 類		1.5	1.0	1.0																																																	
中 間 階	機 器	1.5	1.0	0.6	0.6																																																	
	防振支持の機器		1.5	1.0	1.0																																																	
	水 槽 類		1.0	0.6	0.6																																																	
地 下 及 び 1 階	機 器	1.0	0.6	0.4	0.4																																																	
	防振支持の機器		1.0	0.6	0.6																																																	
	水 槽 類		1.5	1.0	0.6																																																	
26 接 地 極	上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの 水槽類には燃料小出槽を含む 重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記 号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接 地 極</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 共 同 接 地</td> <td>E_AE_D</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● 共 同 接 地</td> <td>E_AE_CE_D</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● A 種</td> <td>E_A</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● B 種</td> <td>E_B</td> <td>Ω以下</td> <td>EB×2連-2組</td> </tr> <tr> <td>● C 種</td> <td>E_C</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● D 種</td> <td>E_D</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB×1</td> </tr> <tr> <td>● 高 圧 避 雷 器</td> <td>E_{LH}</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● 交 換 機 用</td> <td>E_t</td> <td>Ω以下</td> <td>EB×3連-1組</td> </tr> <tr> <td>● 通 信 用</td> <td>E_{At}</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● 通 信 用</td> <td>E_{Dt}及びE_{Da}</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB×1</td> </tr> <tr> <td>● 電 話 引 込 口 の 保 安 器 用</td> <td>E_{Lt}</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB×1</td> </tr> <tr> <td>● 測 定 用</td> <td>E_o</td> <td>—</td> <td>EB×1</td> </tr> </tbody> </table>	接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極	● 共 同 接 地	E _A E _D	10Ω以下	EB×3連-2組	● 共 同 接 地	E _A E _C E _D	10Ω以下	EB×3連-2組	● A 種	E _A	10Ω以下	EB×3連-2組	● B 種	E _B	Ω以下	EB×2連-2組	● C 種	E _C	10Ω以下	EB×3連-2組	● D 種	E _D	100Ω以下	EB×1	● 高 圧 避 雷 器	E _{LH}	10Ω以下	EB×3連-2組	● 交 換 機 用	E _t	Ω以下	EB×3連-1組	● 通 信 用	E _{At}	10Ω以下	EB×3連-2組	● 通 信 用	E _{Dt} 及びE _{Da}	100Ω以下	EB×1	● 電 話 引 込 口 の 保 安 器 用	E _{Lt}	100Ω以下	EB×1	● 測 定 用	E _o	—	EB×1
	接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極																																																		
● 共 同 接 地	E _A E _D	10Ω以下	EB×3連-2組																																																			
● 共 同 接 地	E _A E _C E _D	10Ω以下	EB×3連-2組																																																			
● A 種	E _A	10Ω以下	EB×3連-2組																																																			
● B 種	E _B	Ω以下	EB×2連-2組																																																			
● C 種	E _C	10Ω以下	EB×3連-2組																																																			
● D 種	E _D	100Ω以下	EB×1																																																			
● 高 圧 避 雷 器	E _{LH}	10Ω以下	EB×3連-2組																																																			
● 交 換 機 用	E _t	Ω以下	EB×3連-1組																																																			
● 通 信 用	E _{At}	10Ω以下	EB×3連-2組																																																			
● 通 信 用	E _{Dt} 及びE _{Da}	100Ω以下	EB×1																																																			
● 電 話 引 込 口 の 保 安 器 用	E _{Lt}	100Ω以下	EB×1																																																			
● 測 定 用	E _o	—	EB×1																																																			
27 屋 上 、 屋 側 の 支 持 金 物 等	28 結 露 防 止	(連結の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする) (E _o , E _o , E _o , E _L , E _o の場合、EBはD=10 L=1000 または W=30 L=900 以上とする) (その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)																																																				
	29 アスベスト含有建材の処理	ステンレス製または鋼材に熔融亜鉛メッキを施したものとする。 外気面に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等																																																				
27 屋 上 、 屋 側 の 支 持 金 物 等	28 結 露 防 止	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕 様 等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	建材の内容・箇所	仕 様 等	処理を行う範囲																																																	
	建材の内容・箇所	仕 様 等	処理を行う範囲																																																			
27 屋 上 、 屋 側 の 支 持 金 物 等	29 アスベスト含有建材の処理	※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。 ※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。 ● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 ● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 (測定時期： 測定場所： 測定点：) ● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 対象箇所 ()																																																				

一般共通事項	30 補 修 な ど	工事の施工に伴い既存部分に汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 探査方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ● 1) 施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 試験箇所数 1 施工単位に対し1本以上 対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置 実施する。 工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)
	31 は つ り	※ 対象工事 ※ 対象工事
一般共通事項	32 は つ り 工 事 における非破壊検査	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員 の指示による。)
	33 あと施工アンカー	※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員 の指示による。 照度測定時期 100%点灯時(※ 夜間 ● 昼間) 調光制御点灯時(※ 夜間 ● 昼間)
一般共通事項	34 室内空気中の化学物質の濃度測定	※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事
	35 火 災 保 険 等	1 大地抵抗率の測定 ● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。 ● 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極
一般共通事項	36 鳥 取 県 公 共 事 業 環 境 配 慮 指 針	75kVA以上に取付。 ● 本工事 ● 別途工事 前・後に設置する。
	37 建 築 物 省 エ ネ 法	1 交 流 無 停 電 電 源 装 置 (UPS) 停電補償時間 (分) 方式 (● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)
一般共通事項	1 照 明 器 具	1 自家発電装置 運転時間 (h) 系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 出力 (kW) 配電盤外箱 (● 有 ● 無) 保安装置 (重故障項目特記 ● 有 ● 無) 外部用端子 (● 要 ● 不要) 減圧水槽及び初期注水槽の材質 (● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製) オイルタンク (● 地下 ● 屋内) 据付：機械設備工事標準図 (● 施工30、32 (タンク室無し) ● 施工31、33 (タンク室有り)) 燃料小出槽 (%)：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。 材質 (● 鋼板製 ● ステンレス製) 燃料油等 (● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス ()) 排気系統配管断熱材の厚さ (mm) ばい煙測定口 (● 設ける ● 設けない) 排気ガスに含まれる窒素酸化物 (以下) 運転音 (dB以下) 系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 公称最大出力 (kW) 耐風速 (m/s) パワーコンディショナ (相 線式 V) 定格容量 (kW) 自立運転機能 (● 有 ● 無) 表示装置 (● 有 ● 無) 方式 (※ 液晶 ●)
	2 一般照明の照度測定	2 太陽光発電装置 系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力 (kW)
一般共通事項	3 非常用照明の照度測定	1 交 換 装 置 局線応答方式 (● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式) 停電補償時間 (分) ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線 (現用/実装/容量)
	4 照 明 制 御 の 照 度 測 定 等	5 電 話 機 ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台
一般共通事項	1 電 燈	6 電 話 機 へ の 配 線 卓上電話機1台につき次のものを見込む。 ● ボタン電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●) ● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● IP電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●)
	2 備 置	7 構 内 交 換 設 備 1 マルチサイン装置 イメージスキャナ (● 設ける ● 設けない) 制御装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形) 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●) 3 時刻表示装置 親時計 (● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線) 太陽電池式屋外時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
一般共通事項	3 雷保護設備	8 情 報 表 示 設 備 1 プロジェクト 光出力 (● I形 ● II形 ● III形) 解像度 (● A形 ● B形 ● C形) コントラスト比 (● X形 ● Y形)
	4 受変電設備	

10 拡 声 設 備	1 増 幅 器	形式 (● 卓上形 ● ラック形) 定格出力 (W) 性能 (● Hi形 ● Lo形) ● 増幅器の入出力配線と外部配管(壁ボックス等)の接続はコネクタによる。																																																																																			
	11 誘 導 装 置	検出方式 (● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式)																																																																																			
12 火 災 報 知 設 備	1 自 動 火 災 報 知 設 備	受信機 (● 型 級 回線 (番機型) ● 複合形 ● 単独形) ● 防火戸用 (※ ラッチ式 ● 電磁式) ● 防煙ダンパー用 (※ 電動復帰 ● 手動復帰) ● 防火シャッター用 (※ 別途工事 ● 本工事)																																																																																			
	2 自 動 閉 鎖 設 備	検知器 (● 天井取付形 ● 壁取付形)																																																																																			
13 構 内 配 電 線 路	3 ガス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上 (● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●) 蓋の記号表示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 ● 閉鎖形 (● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) ● 地絡継電器付 (※ 方向性 ● 無方向性) ● 避雷器内蔵 ● 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。 2 地 中 箱 高圧ケーブルの両端部にシースの締め対策(熱耐塩テープによるシースずれ止め対策等)を行う。 3 高 圧 負 荷 開 閉 器 ● 一般形 ● 耐塩形 4 高 圧 ケーブル の 端 末 部 ※ 高圧 ● 低圧 5 高 圧 ケーブル の 屋 外 端 末 処 理 照明用ポールには配線用遮断器(トリップ機能なし)又はカットアウトスイッチ(素通しヒューズ)を内蔵する。た 6 標 識 シ ー ト 7 照 明 用 ポ ー ル ただし、ガーデンライトは除く。																																																																																			
	14 構 内 通 信 線 路	1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上 (●) 蓋の記号表示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 2 地 中 箱 ● データ回線 ● 電話 ● CATV ● 3 標 識 シ ー ト																																																																																			
15 テレ ビ 電 波 受 信 障 害 調 査	1 調 査 仕 様	1 調 査 仕 様 図面に記載されていない事項は、すべて(一社)日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領(地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けものとする。 ※ 事前 ● 中間 ※ 事後 中継局 波： 地点 中継局 波： 地点 ※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部																																																																																			
	2 テレ ビ 電 波 受 信 障 害 調 査 時 期	1 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。																																																																																			
16 そ の 他	3 受 信 する 受 信 波 及 び 地 点 数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>測 点</th> <th>取付高(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力共通</td> <td>取引用計器</td> <td>地上～窓中心</td> <td>1,800~2,000</td> </tr> <tr> <td>電力共通</td> <td>引込開閉器</td> <td>地上～中心</td> <td>1,800~2,200</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電</td> <td>分電盤・OA盤・実験盤</td> <td>床上～中心</td> <td>1,500(上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>スイッチ</td> <td>〃</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>〃(多機能トイレ)</td> <td>〃</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>コンセント(一般)</td> <td>〃</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>〃(和室)</td> <td>〃</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>〃(台所)</td> <td>台上～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>〃(土間)</td> <td>床上～中心</td> <td>800~1,300</td> </tr> <tr> <td>〃(車椅子用)</td> <td>〃</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>ブラケット(一般)</td> <td>〃</td> <td>2,100~2,300</td> </tr> <tr> <td>〃(踊場)</td> <td>〃</td> <td>2,000~2,500</td> </tr> <tr> <td>〃(鏡上)</td> <td>鏡上端～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">動 力</td> <td>壁掛形制御盤</td> <td>床上～中心</td> <td>1,500(上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>〃</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>操作スイッチ</td> <td>〃</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">構 内 交 換</td> <td>端子盤</td> <td>床上～下端</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>保安器箱</td> <td>天井下～上端</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電 気 時 計</td> <td>壁付アウトレット</td> <td>床上～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>〃(和室)</td> <td>〃</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拡 声</td> <td>壁掛形親時計</td> <td>床上～中心</td> <td>1,500(上限1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>子時計</td> <td>〃</td> <td>天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">換 気</td> <td>壁掛形スピーカ</td> <td>床上～中心</td> <td>天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td>壁付アッテネータ</td> <td>〃</td> <td>1,300</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	測 点	取付高(mm)	電力共通	取引用計器	地上～窓中心	1,800~2,000	電力共通	引込開閉器	地上～中心	1,800~2,200	電	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)	スイッチ	〃	1,300	〃(多機能トイレ)	〃	1,100	コンセント(一般)	〃	300	〃(和室)	〃	150	〃(台所)	台上～中心	150	〃(土間)	床上～中心	800~1,300	〃(車椅子用)	〃	900	ブラケット(一般)	〃	2,100~2,300	〃(踊場)	〃	2,000~2,500	〃(鏡上)	鏡上端～中心	150	動 力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)	手元開閉器	〃	1,500	操作スイッチ	〃	1,300	構 内 交 換	端子盤	床上～下端	300	保安器箱	天井下～上端	200	電 気 時 計	壁付アウトレット	床上～中心	300	〃(和室)	〃	150	拡 声	壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上限1,900以下)	子時計	〃	天井高×0.9	換 気	壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9	壁付アッテネータ	〃	1,300
	名 称	測 点	取付高(mm)																																																																																		
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	1,800~2,000																																																																																		
電力共通	引込開閉器	地上～中心	1,800~2,200																																																																																		
電	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)																																																																																		
	スイッチ	〃	1,300																																																																																		
	〃(多機能トイレ)	〃	1,100																																																																																		
	コンセント(一般)	〃	300																																																																																		
	〃(和室)	〃	150																																																																																		
	〃(台所)	台上～中心	150																																																																																		
	〃(土間)	床上～中心	800~1,300																																																																																		
	〃(車椅子用)	〃	900																																																																																		
	ブラケット(一般)	〃	2,100~2,300																																																																																		
	〃(踊場)	〃	2,000~2,500																																																																																		
〃(鏡上)	鏡上端～中心	150																																																																																			
動 力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)																																																																																		
	手元開閉器	〃	1,500																																																																																		
	操作スイッチ	〃	1,300																																																																																		
構 内 交 換	端子盤	床上～下端	300																																																																																		
	保安器箱	天井下～上端	200																																																																																		
電 気 時 計	壁付アウトレット	床上～中心	300																																																																																		
	〃(和室)	〃	150																																																																																		
拡 声	壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上限1,900以下)																																																																																		
	子時計	〃	天井高×0.9																																																																																		
換 気	壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9																																																																																		
	壁付アッテネータ	〃	1,300																																																																																		
4 報 告 書 提 出 部 数	2 工 事 の た め 送 電 線 及 び 配 電 線 の 近 く で 作 業 す る と き は 、 事 前 に 中 国 電 力 に 連 絡 し 、 事 故 防 止 に 努 め る も の と す る 。																																																																																				

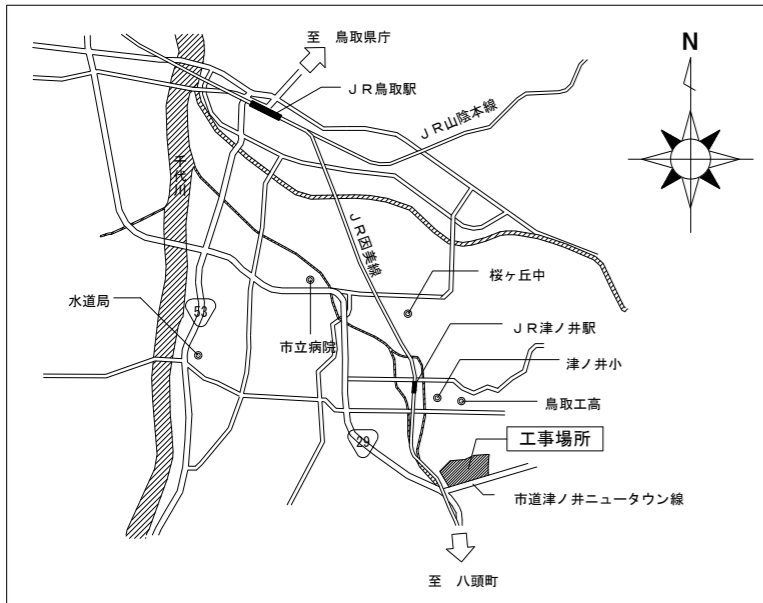
Ⅲ. 機 材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。

ただし、壁類は上記によるほか以下の製造業者とする。

株式会社 永井電機工業所	株式会社 平木電機産業
株式会社 小林制電機	株式会社 富士オートメーション
株式会社 勝英産業	株式会社 増岡電機製作所

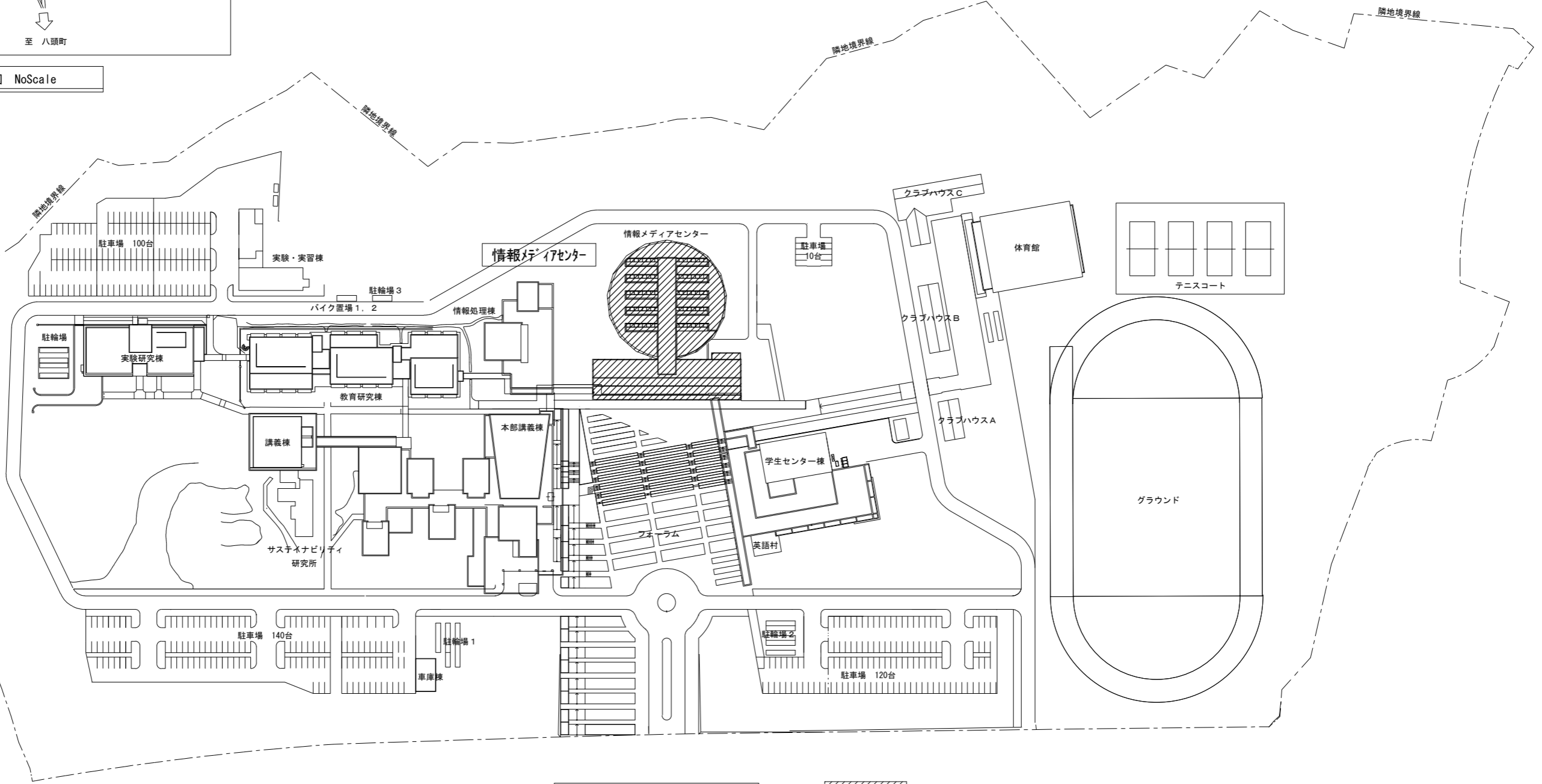
令和5年4月改定版	 公立大学法人 公立鳥取環境大学	CHECK	DRAW	DATE	工事名称 令和8年度受変電設備更新工事	年度	図面番号
				R8.4			



付近見取図 NoScale

工事概要

- 情報メディアセンター棟階電気室の下記分電盤にある遮断器及び継電器を更新する。
 - ・高圧き電盤（電灯）送り：真空遮断器 1台、過電流継電器 1台、地絡方向継電器 1台
 - ・高圧き電盤（動力）送り：真空遮断器 1台、過電流継電器 1台、地絡方向継電器 1台
- 1に付随する工事



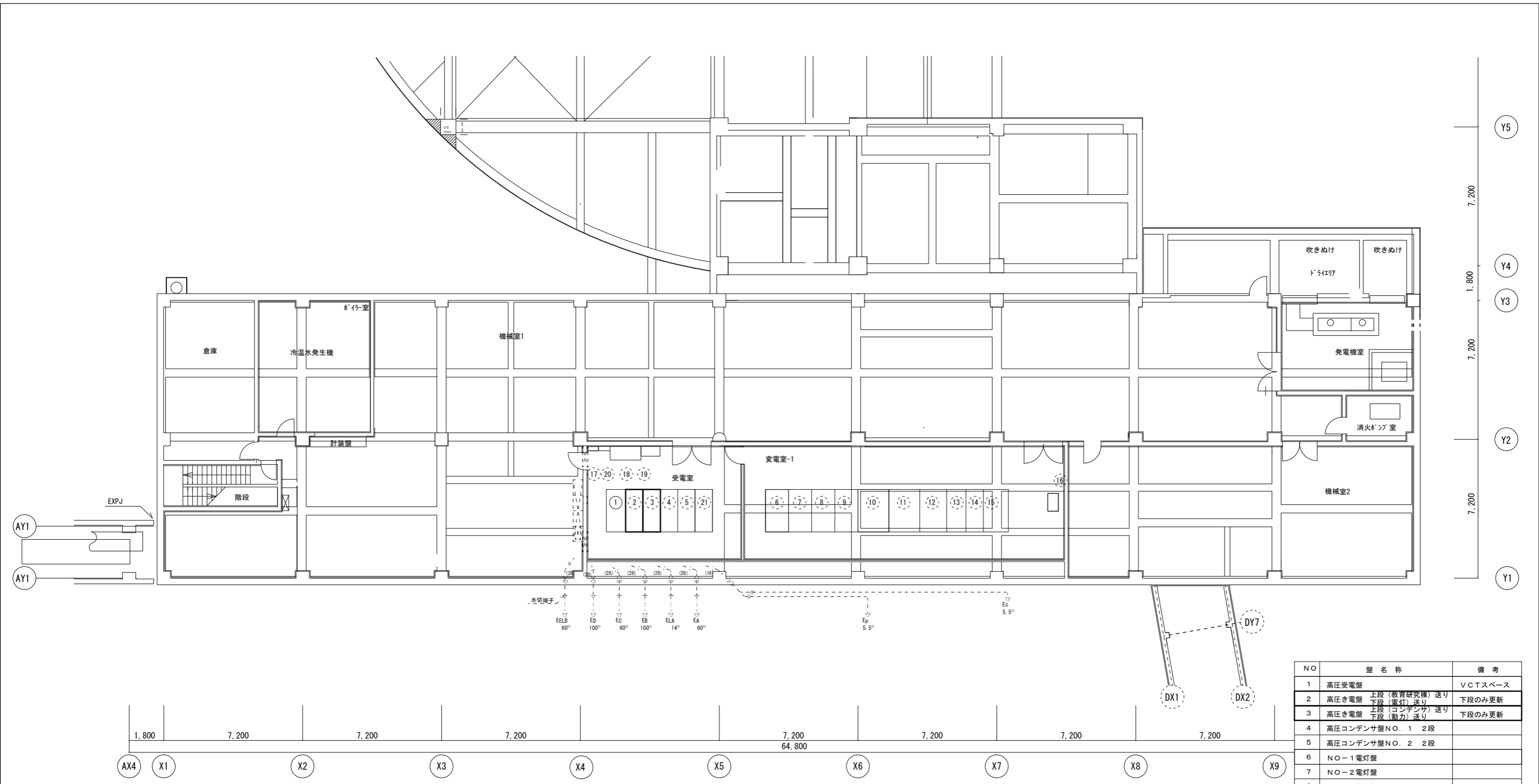
配置図 S=1/2000

対象箇所



公立大学法人
公立鳥取環境大学

工事名称	図面名称	縮尺	年月日	図面番号
令和8年度受変電設備更新工事	配置図、付近見取図	1/2000	2026.04	03




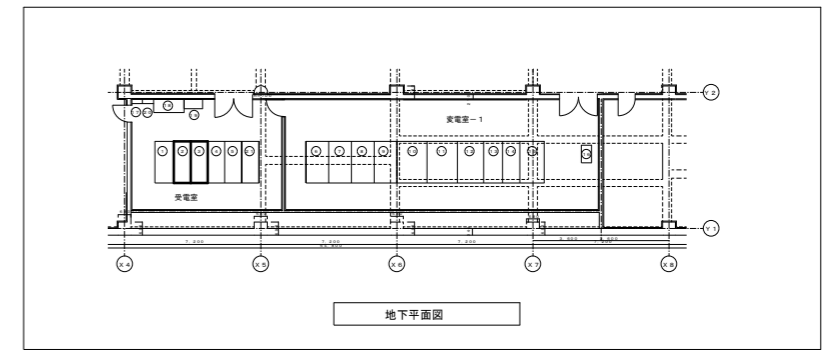
NO	盤名称	備考
1	高圧受電盤	VCTスペース
2	高圧き電盤 上段(教育研究棟)送り 下段(電灯)送り	下段のみ更新
3	高圧き電盤 上段(コンデンサ)送り 下段(動力)送り	下段のみ更新
4	高圧コンデンサ盤NO. 1 2段	
5	高圧コンデンサ盤NO. 2 2段	
6	NO-1電灯盤	
7	NO-2電灯盤	
8	NO-3電灯盤	
9	NO-4電灯盤	
10	NO-1動力盤	
11	NO-2動力盤	
12	非常動力盤	
13	非常電灯盤	
14	蓄熱受電盤	VCTスペース
15	蓄熱動力盤	440V
16	ソーラー系統連系盤	太陽光発電設備
17	接地端子盤	下部ダクト付
18	蓄電池盤	蓄電池設備
19	DGP盤	中央監視設備
20	WHM盤	スペース
21	高圧き電盤 上段(実験研究棟)送り 下段 空き	

情報メディアセンター棟 地下階平面図 S=1/200

注記

- 既存建物を十分確認の上、施工のこと。
- 図中、太線で示す盤内にある下記の機器を更新すること。
・真空遮断器 2台、地絡方向継電器 2台、過電流継電器 2台
- 図中、細線で示す配管配線・シボムは既設を示す。
- 本学全館停電日(令和8年8月22日(土)予定)に取替作業ができるように工事計画を行うこと。

 公立大学法人 公立鳥取環境大学	工事名称	図面名称	縮尺	年月日	図面番号
	令和8年度受変電設備更新工事	地下階平面図(情報メディアセンター棟)	1/200	2026.04	04



NO	設備名称	備考
1	高圧受電盤	VCTスペース
2	高圧き電盤 上段 (教育研究棟) 送り	下段のみ更新
3	高圧き電盤 上段 (コンテナ) 送り	下段のみ更新
4	高圧コンデンサ盤NO.1 2段	
5	高圧コンデンサ盤NO.2 2段	
6	NO-1電灯盤	
7	NO-2電灯盤	
8	NO-3電灯盤	
9	NO-4電灯盤	
10	NO-1動力盤	
11	NO-2動力盤	
12	非常動力盤	
13	非常電灯盤	
14	蓄熱受電盤	VCTスペース
15	蓄熱動力盤	4.4OV
16	ソーラー系統連系盤	太陽光発電設備
17	接地端子盤	下部ダクト付
18	蓄電池設備	蓄電池設備
19	DGP盤	中央監視設備
20	WHM盤	スペース
21	高圧き電盤 上段 (実験研究棟) 送り	
22	高圧き電盤 下段 空室	

注記

1: 監視盤送り機器の仕様は下記による。
 ▲印 蓄電器は監視盤において、異常表示を示す。
 ●印 計器類は # 計測を示す。
 ★印 L#印器類は # 状態表示、警報表示を示す。
 ■印 PFは # 状態表示を示す。
 ○印 トランス・リアクトルは # 温度警報を示す。
 △印 コンデンサは # 異常警報を示す。
 □印 機器は # 異常警報を示す。
 ⊠印 は電力会社よりバルス受取中央監視へ表示する。

2: 各計器は広角型、電流計は最大値計付。
 3: 各受電器はダイヤル温度計 (警報接点付) 付、異常を監視盤に表示する。
 4: 図中の表裏記号は線メッキ仕上。

中央監視盤

○ 操作
 ● 状態表示
 ▲ 警報表示
 計測 (4~20mA)
 計量 1kWh/pulse

□: 本工事の更新対象機器を示す。

